

県内経済の基調判断

2025年9月速報

最近の県内景況をみると、総じて足踏みしている。

概 況

生産は振れを伴いつつ、全体として持ち直しに向けた動きがみられる。需要面の動きをみると、公共投資は持ち直しの動きとなっている。住宅投資は反動などから大幅に減少している。個人消費は一部に持ち直しの動きもみられるが、総じて弱含んでいる。雇用情勢は弱さがうかがわれるものとなっている。

(参考) 県内景況判断の推移

	2025年7月	8月	9月
総 括 判 断	総じて足踏みしている (据え置き)	総じて足踏みしている (据え置き)	総じて足踏みしている (据え置き)
生 産	振れを伴いつつ、全体として持ち直しに向けた動きがみられる	振れを伴いつつ、全体として持ち直しに向けた動きがみられる	振れを伴いつつ、全体として持ち直しに向けた動きがみられる
公共投資	持ち直しの動きとなっている	持ち直しの動きとなっている	持ち直しの動きとなっている
住宅投資	反動などから大幅に減少している	反動などから大幅に減少している	反動などから大幅に減少している
個人消費	一部に持ち直しの動きもみられるが、総じて弱含んでいる	一部に持ち直しの動きもみられるが、総じて弱含んでいる	一部に持ち直しの動きもみられるが、総じて弱含んでいる
雇用情勢	持ち直しの動きが足踏みしている	持ち直しの動きが足踏みしている	弱さがうかがわれるものとなっている

	2024年10～12月	2025年1～3月	4～6月
企 業 景 況 の 感	総じて持ち直しているが、一部で弱めの動きがみられる	持ち直しの動きが鈍化し、厳しさがうかがわれるものとなっている	持ち直しの動きが鈍化し、厳しさがうかがわれるものとなっている

注) 下線は前月(回)からの変更箇所

77B I

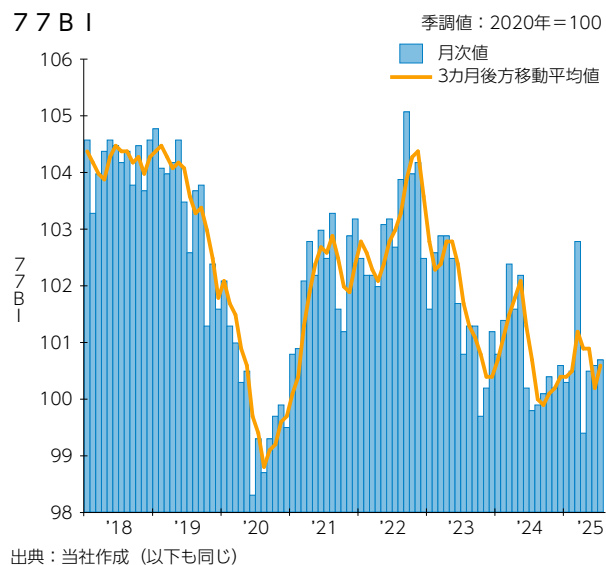
77B I (暫定値)は、弱めの動きとなっている。

7月の**77B I (暫定値)**は、前月比0.1ポイント上昇の100.7となった。

採用指標別にみると、宮城県消費動向指数、有効求人倍率は前月比低下し、建築物着工床面積は前月比上昇した。また、6月の鉱工業生産指数は前月比上昇した。

一方、移動平均値（3カ月後方）は、前月比0.4ポイント上昇の100.6となった。

77B I



77B I (季節調整値、2020年＝100)

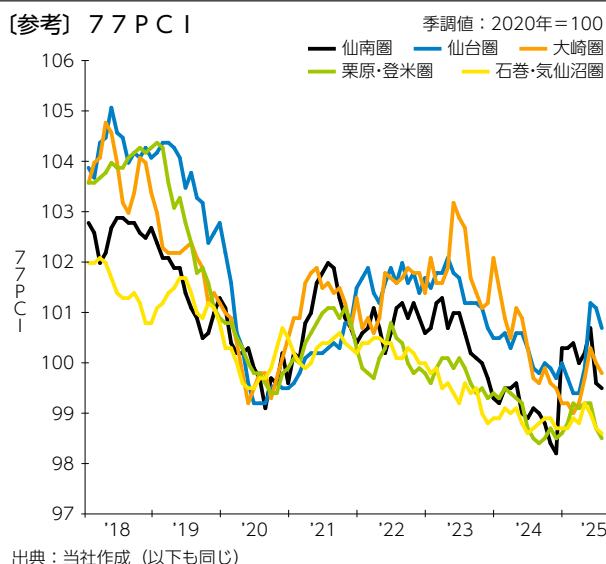
	2025年5月	6月	7月
B I 値	100.5	100.6	100.7
鉱工業生産指数	105.3	108.4	108.4
宮城県消費動向指数	95.3	100.2	96.1
建築物着工床面積	195.9	31.9	169.4
有効求人倍率	97.1	94.7	93.1

【参考】77P C I (広域圏別景気指数) (季節調整値、2020年＝100、前月比：%ポイント)

	2025年5月	6月	7月
仙南圏	0.5	▲ 1.2	▲ 0.1
仙台圏	1.3	▲ 0.1	▲ 0.4
大崎圏	0.6	▲ 0.4	▲ 0.1
栗原・登米圏	0.02	▲ 0.6	▲ 0.1
石巻・気仙沼圏	▲ 0.2	▲ 0.3	▲ 0.1

※77B I は、2024年8月公表分より基準年を変更（2020年＝100）し、すべての指数を遡って改訂しました。今後、指数の妥当性の検証等により再度遡って改訂することがありますので、予めご了承ください。

【参考】77P C I



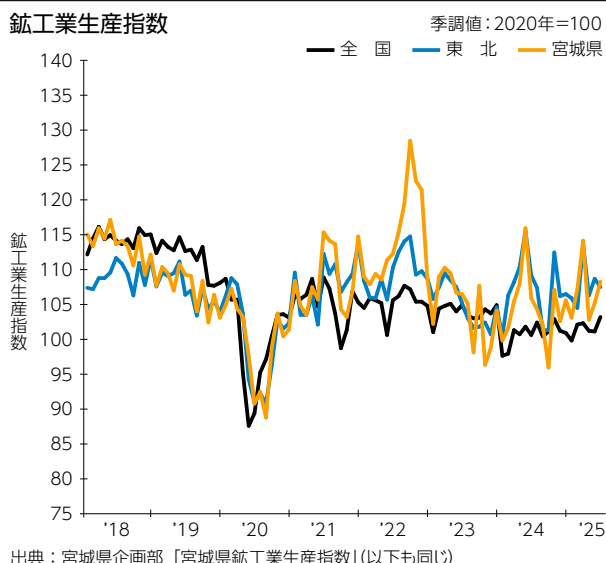
生産動向

鉱工業生産指数は、振れを伴いつつ、全体として持ち直しに向けた動きがみられる。

6月の**鉱工業生産指数**は、前月比2.9%上昇の108.4となった。業種別にみると、汎用・生産用・業務用機械工業が前月比プラスとなったことなどから、前月に引続き前月を上回っている。

一方、前年と比較すると、輸送機械工業が前年を上回ったことなどから、全体では前年比4.3%の上昇となり、3カ月ぶりに前年を上回った。

鉱工業生産指数



鉱工業生産指数

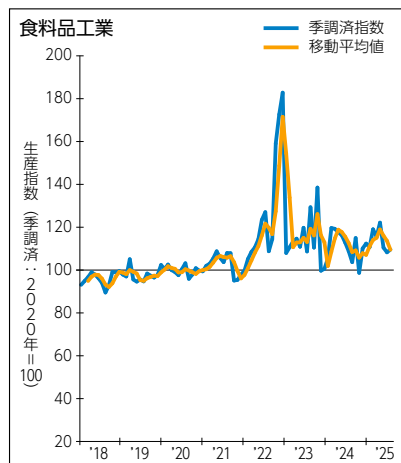
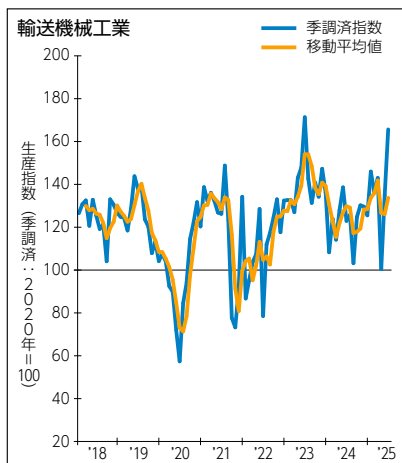
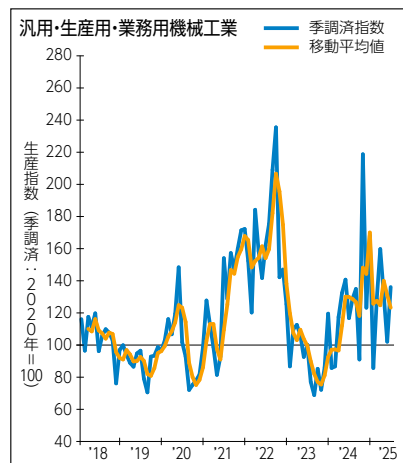
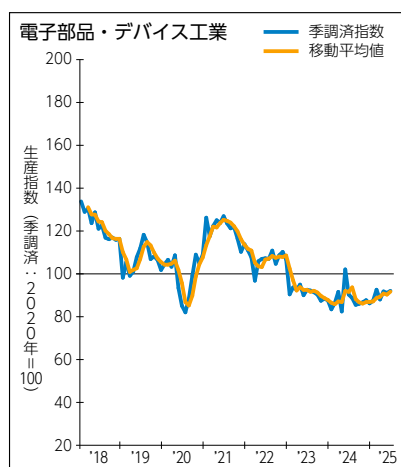
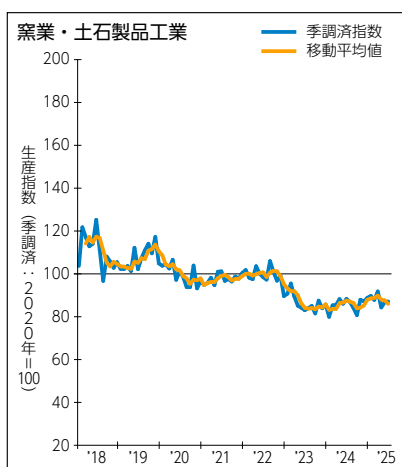
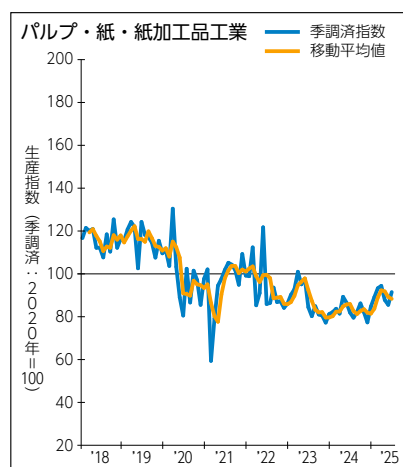
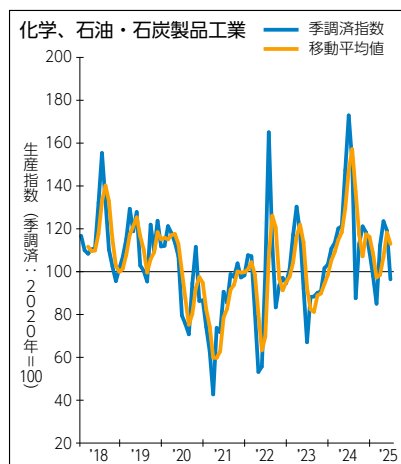
(2020年=100、季節調整済、前年比：%)

	2025年4月	5月	6月
宮城県	102.9	105.3	108.4
(前年比)	▲ 4.8	▲ 11.1	4.3
東北	106.4	108.8	107.6
(前年比)	▲ 3.7	▲ 7.3	▲ 0.1
全国	101.3	101.2	103.3
(前年比)	0.5	▲ 2.4	4.4

主要業種別生産動向(宮城県)

(2020年=100、季節調整済、前年比：%)

業 種	2025年4月	5月	6月
化学、石油・石炭製品工業	123.6	119.1	96.4
(前年比)	2.0	▲ 19.5	▲ 44.1
パルプ・紙・紙加工品工業	87.8	85.5	91.5
(前年比)	▲ 1.7	0.7	9.7
窯業・土石製品工業	84.3	86.7	87.1
(前年比)	▲ 4.5	▲ 1.6	1.1
電子部品・デバイス工業	91.8	91.1	92.1
(前年比)	11.4	▲ 12.4	3.8
汎用・生産用・業務用機械工業	131.6	102.0	136.1
(前年比)	▲ 0.7	▲ 30.5	21.5
輸送機械工業	100.5	135.1	165.8
(前年比)	▲ 21.6	▲ 6.4	40.2
食料品工業	110.5	108.3	109.6
(前年比)	▲ 5.0	▲ 4.1	0.9



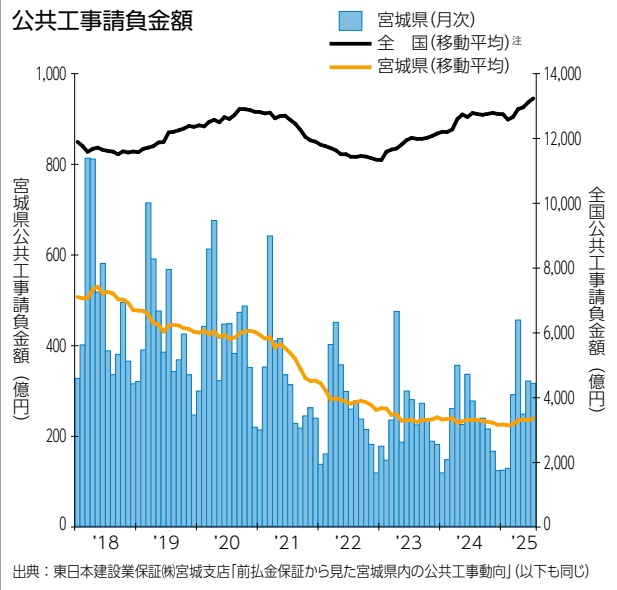
建設動向

公共工事請負金額は持ち直しの動きとなっている。
住宅着工は反動などから大幅に減少している。
建築物着工は持続的な勢いを欠く動きとなっている。

公共工事

7月の公共工事請負金額は、前年同月比14.2%増の316億円となり、2カ月ぶりに前年を上回った。
発注者別にみると、国の機関では、同85.7%増の83億円と前年を上回った。
一方、地方の機関は、県が同4.6%増の95億円、市町村等は同2.3%減の138億円となり、全体で同0.4%増の233億円と前年を上回った。

公共工事請負金額



注）12カ月後方移動平均値、以下のグラフも断りのない限り同じ

公共工事請負金額（発注者別）

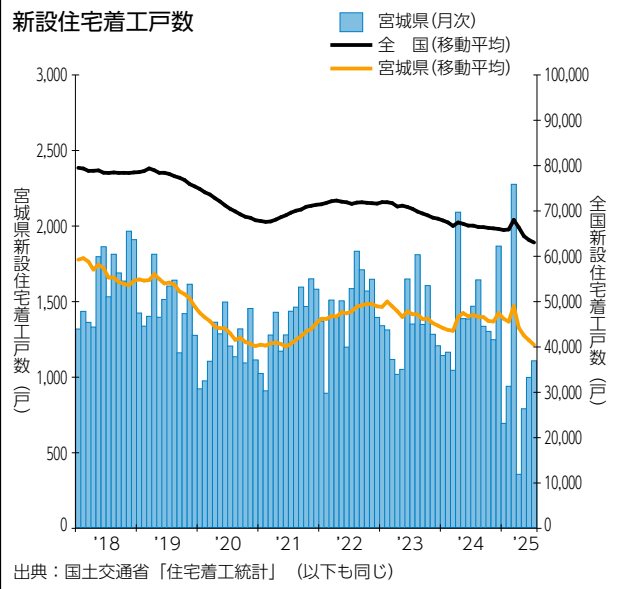
（前年比、%）

	2025年5月	6月	7月
宮城県	10.1	▲ 4.3	14.2
国の機関	2.6倍	▲ 35.6	85.7
県	▲ 24.5	2.0	4.6
市町村等	▲ 11.0	30.5	▲ 2.3
全国	4.0	10.8	9.5

住宅建設

7月の新設住宅着工戸数は、前年同月比24.7%減の1,106戸（全国9.7%減、61,409戸）となり、4カ月連続して前年を下回っている。
利用関係別にみると、分譲が同2.1倍（402戸）と前年を上回ったが、持家が同43.2%減（209戸）、貸家が同50.7%減（448戸）と前年を下回った。

新設住宅着工戸数



新設住宅着工戸数（利用関係別）

（前年比、%）

	2025年5月	6月	7月
宮城県	▲ 43.1	▲ 28.0	▲ 24.7
持家	▲ 22.2	▲ 31.7	▲ 43.2
貸家	▲ 46.9	▲ 23.2	▲ 50.7
分譲	▲ 53.0	▲ 36.6	2.1倍
全国	▲ 34.4	▲ 15.6	▲ 9.7

新設住宅着工戸数（市部・郡部別）

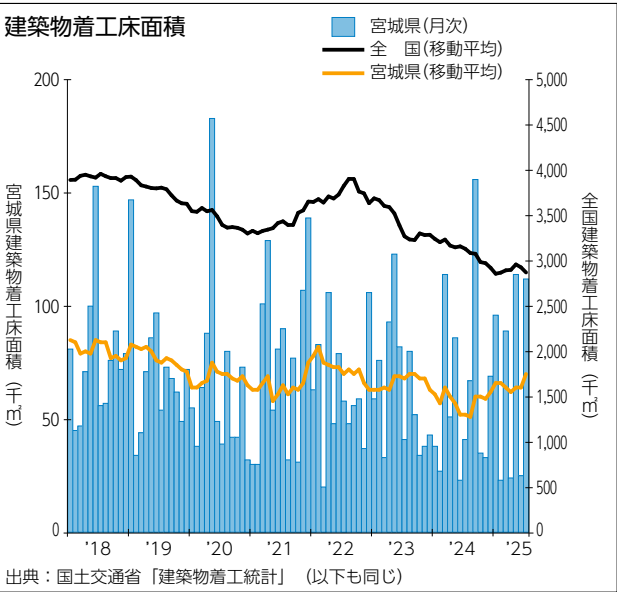
（前年比、%）

	2025年5月	6月	7月
市部	▲ 41.6	▲ 28.0	▲ 28.9
うち仙台市	▲ 51.2	▲ 38.6	▲ 29.4
うち仙台市以外	▲ 10.4	0.9	▲ 27.8
郡部	▲ 54.7	▲ 28.1	14.5

建築物着工

7月の建築物着工（民間非居住用）は、床面積が前年同月比2.7倍の112千㎡、工事費予定額は同18.2%減の233億円となり、床面積は3カ月連続して前年を上回っており、工事費予定額は前月に引続き前年を下回っている。

用途別に床面積をみると、倉庫（54千㎡：前年同月比11.2倍）などが前年を上回った。



建築物着工床面積(用途別) (前年比、%)			
	2025年5月	6月	7月
宮城県	32.9	9.6	2.7倍
事務所	9.2倍	▲ 2.8	64.7
店舗	▲ 77.8	3.0倍	33.1
工場	76.7倍	4.7	31.1
倉庫	▲ 82.3	▲ 29.1	11.2倍
その他	▲ 20.4	16.7	87.5
全国	27.2	▲ 12.4	▲ 23.9

建築物着工工事費予定額(用途別) (前年比、%)			
	2025年5月	6月	7月
宮城県	4.1倍	▲ 66.3	▲ 18.2
事務所	22.2倍	15.0	2.1倍
店舗	▲ 74.5	5.9倍	66.5
工場	380.3倍	21.4	76.9
倉庫	▲ 42.3	▲ 11.3	13.0倍
その他	▲ 12.0	▲ 82.7	▲ 85.9
全国	60.6	7.6	▲ 17.5

消費動向

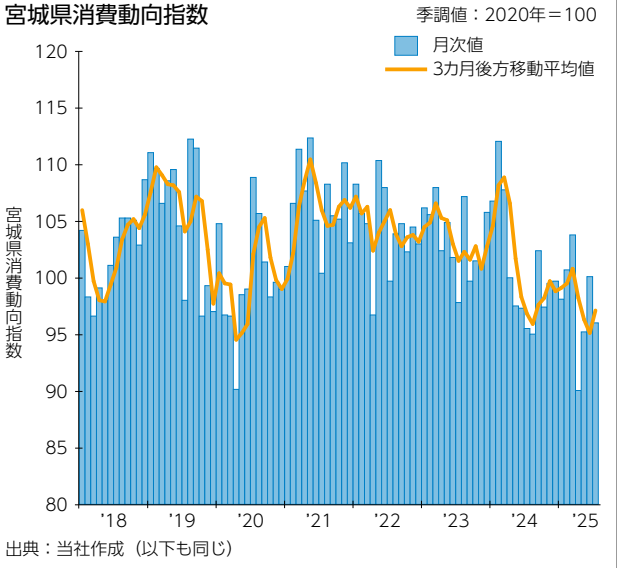
宮城県消費動向指数、小売業主要業態販売はともに物価高による下押しが強まっている。乗用車新車販売は持ち直しの動きが鈍化している。

消費動向指数

7月の宮城県消費動向指数は、前月比4.1ポイント低下の96.1となり、3カ月ぶりに低下した。

消費費目別にみると、「家具・家事用品」「食料」などが低下した。

一方、移動平均値(3カ月後方)は、前月比2.0ポイント上昇の97.2となった。



※消費動向指数は、宮城県内の個人消費動向をより的確に把握するため、総務省「家計調査報告」などを使用して、個人消費動向を需要側から捕捉する指標として、当社が独自に作成した指数。
※消費動向指数は、2024年8月公表分より基準年を変更(2020年=100)し、すべての指数を遡って改訂しました。今後、指数の妥当性の検証等により再度遡って改訂することがありますので、予めご了承ください。

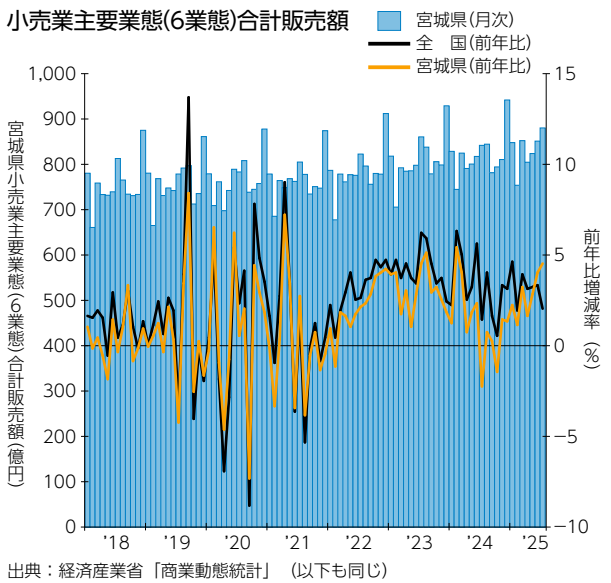
宮城県消費動向指数 (季節調整値、2020年=100)			
	2025年5月	6月	7月
消費動向指数	95.3	100.2	96.1
家賃指数	110.4	110.3	110.7
乗用車販売指数	105.4	100.0	95.6
コア消費支出指数	108.6	113.1	109.2

小売業主要業態販売

7月の小売業主要業態（6業態）の合計販売額（全店ベース）は、前年同月比4.6%増の884億円（全国2.1%増、4兆6,721億円）となり、9カ月連続して前年を上回っている。

業態別にみると、百貨店・スーパーは同2.3%増の354億円（全国1.6%増）となり、7カ月連続して前年を上回っている。コンビニエンスストアは同5.0%増の227億円（全国3.6%増）となり、9カ月連続して前年を上回っている。家電大型専門店は同2.3%増の66億円（全国4.8%減）となり、3カ月連続して前年を上回っている。ドラッグストアは同10.4%増の176億円（全国5.7%増）となり、52カ月連続して前年を上回っている。ホームセンターは同3.0%増の61億円（全国1.0%増）となり、前月に引続き前年を上回っている。

小売業主要業態(6業態)合計販売額



小売業主要業態販売額

(前年比、%)

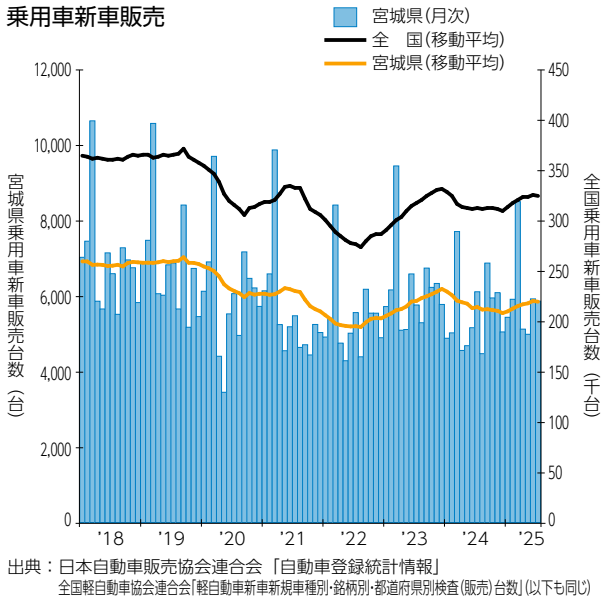
	2025年5月	6月	7月
6業態合計(宮城県)	2.9	4.1	4.6
百貨店・スーパー	1.4	0.7	2.3
コンビニエンスストア	3.3	4.8	5.0
家電大型専門店	3.1	4.5	2.3
ドラッグストア	8.3	11.0	10.4
ホームセンター	▲ 3.5	3.2	3.0
6業態合計(全国)	3.3	3.4	2.1

注) 全店ベース

乗用車新車販売

7月の乗用車新車販売台数は、前年同月比4.1%減（全国3.8%減）の5,874台となり、7カ月ぶりに前年を下回った。車種別にみると、普通車は、同8.6%減（全国6.0%減）の2,446台となり、2カ月ぶりに前年を下回った。小型車は、同8.8%減（全国0.1%減）の1,500台となり、7カ月ぶりに前年を下回った。また、軽乗用車は、同6.9%増（全国3.0%減）の1,928台となり、7カ月連続して前年を上回っている。

乗用車新車販売



乗用車新車販売台数

(前年比、%)

	2025年5月	6月	7月
宮城県	6.4	14.8	▲ 4.1
普通車	▲ 1.2	5.5	▲ 8.6
小型車	15.3	28.0	▲ 8.8
軽乗用車	10.3	17.7	6.9
全国	3.1	5.5	▲ 3.8

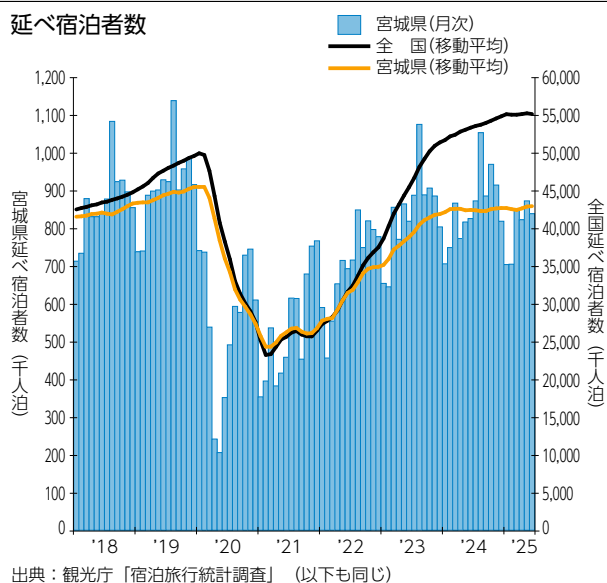
観光動向

6月の延べ宿泊者数は、前年同月比1.6%増の840千人泊となり、3カ月連続して前年を上回っている。

居住地別にみると、県内宿泊客は同7.0%増の200千人泊と2カ月ぶりに前年を上回り、県外宿泊客は同0.6%減の566千人泊と4カ月ぶりに前年を下回った。

また、外国人の延べ宿泊者数は、同20.2%増の60千人泊となり、35カ月連続して前年を上回っている。

延べ宿泊者数



延べ宿泊者数(居住地別)

(千人泊)

	2025年4月	5月	6月
宮城県	824	874	840
うち県内客	171	182	200
うち県外客	523	599	566
うち外国人	101	65	60
全国	53,045	55,635	49,446
うち外国人	17,288	15,860	14,120

延べ宿泊者数(居住地別)

(前年比、%)

	2025年4月	5月	6月
宮城県	6.5	7.0	1.6
うち県内客	4.8	▲ 10.0	7.0
うち県外客	5.0	8.6	▲ 0.6
うち外国人	44.1	43.3	20.2
全国	1.9	2.3	▲ 2.4
うち外国人	20.4	16.7	5.3

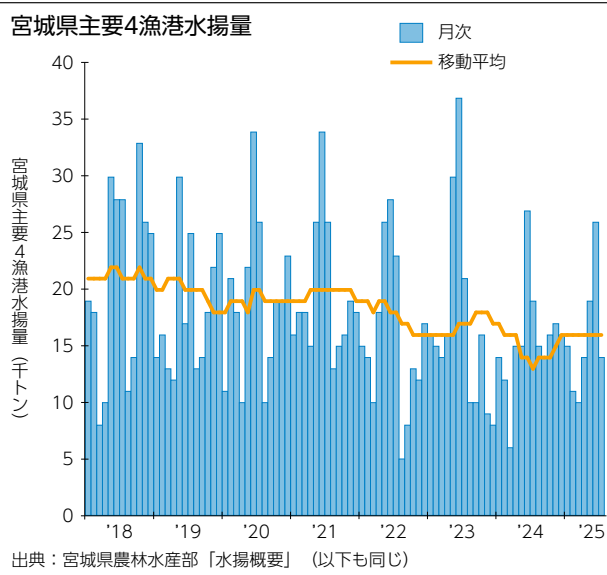
水産動向

7月の主要4漁港（塩釜、石巻、気仙沼、女川）における水揚げは、数量が前年同月比26.9%減の14千トン、金額が同2.3%減の69億円となり、数量は前月に引き続き前年を下回っており、金額は3カ月ぶりに前年を下回った。

魚種別にみると、数量、金額ともカツオなどが減少した。

漁港別にみると、数量、金額とも塩釜、石巻、女川が前年を上回ったが、気仙沼が前年を下回った。

宮城県主要4漁港水揚量



主要漁港水揚量

(前年比、%)

	2025年5月	6月	7月
合計	28.4	▲ 5.5	▲ 26.9
塩釜	2.2倍	45.5	40.6
石巻	17.7	▲ 10.0	16.6
気仙沼	37.2	2.4	▲ 63.6
女川	31.6	▲ 22.8	51.0

主要漁港水揚金額

(前年比、%)

	2025年5月	6月	7月
合計	7.7	4.6	▲ 2.3
塩釜	18.6	▲ 11.3	21.4
石巻	▲ 10.8	17.2	55.1
気仙沼	52.3	9.2	▲ 55.9
女川	▲ 16.7	▲ 15.1	2.3倍

貿易動向

7月の貿易額（仙台塩釜、石巻、気仙沼の各港および仙台空港における通関実績）は、輸出が前年同月比10.6%減の306億円と3カ月連続して前年を下回っている。輸入が同17.6%減の760億円と8カ月連続して前年を下回っている。

輸出額・輸入額

(前年比、%)

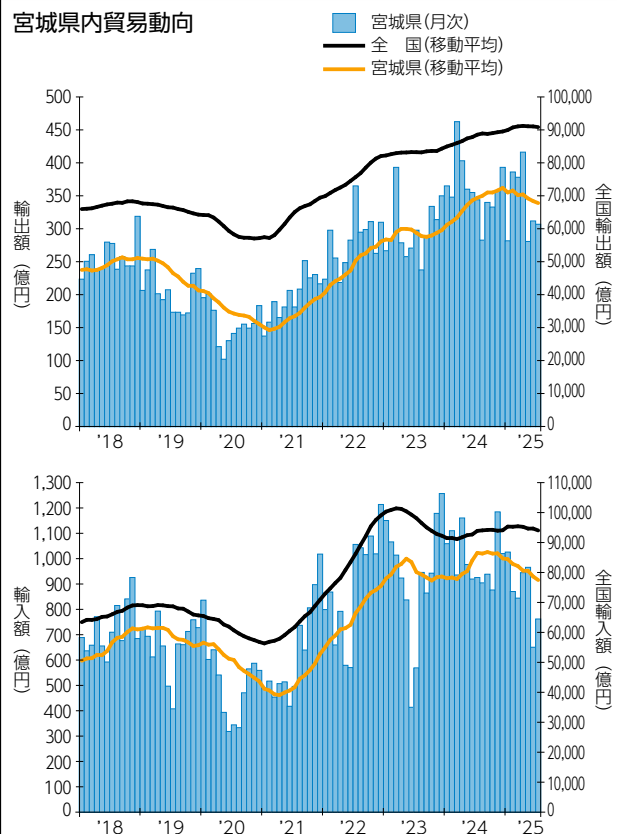
		2025年5月	6月	7月
宮城県	輸出	▲22.0	▲12.1	▲10.6
	輸入	▲1.1	▲29.2	▲17.6
全国	輸出	▲1.7	▲0.5	▲2.6
	輸入	▲7.6	0.3	▲7.4

各港の輸出額・輸入額

(前年比、%)

		2025年5月	6月	7月
仙台塩釜	輸出	▲21.7	▲12.0	▲10.1
	輸入	0.4	▲31.2	▲18.1
石巻	輸出	▲22.7	42.1	▲45.6
	輸入	▲29.6	▲3.2	▲13.3
気仙沼	輸出	▲91.9	▲80.6	19.6
	輸入	3.2倍	4.5	2.1倍
仙台空港	輸出	▲33.4	▲41.6	19.1
	輸入	全減	10.7倍	▲82.6

宮城県内貿易動向



出典：財務省「財務省貿易統計」（以下も同じ）

物価動向

7月の仙台市消費者物価指数（生鮮食品を除く総合）は、前年同月比3.6%上昇の114.3となり49カ月連続して前年を上回っている。

費目別にみると、「生鮮食品を除く食料」「住居」などが上昇した。

消費者物価指数(費目別)

(前年比、%)

	2025年5月	6月	7月
生鮮食品を除く食料	7.7	7.9	8.2
住居	2.5	2.5	2.9
光熱・水道	7.1	3.7	0.0
家具・家事用品	2.0	3.8	3.7
被服および履物	1.4	1.4	2.7
保健医療	2.2	1.5	1.5
交通・通信	2.6	2.0	2.1
教育	▲8.4	▲8.4	▲8.4
教養娯楽	3.1	2.7	2.9
諸雑費	1.6	1.5	1.7

仙台市消費者物価指数



注）生鮮食品除く総合
出典：宮城県企画部「仙台市消費者物価指数」（以下も同じ）

消費者物価指数(生鮮食品を除く総合)

(前年比、%)

	2025年5月	6月	7月
仙台市	4.0	3.7	3.6
全国	3.7	3.3	3.1

雇用動向

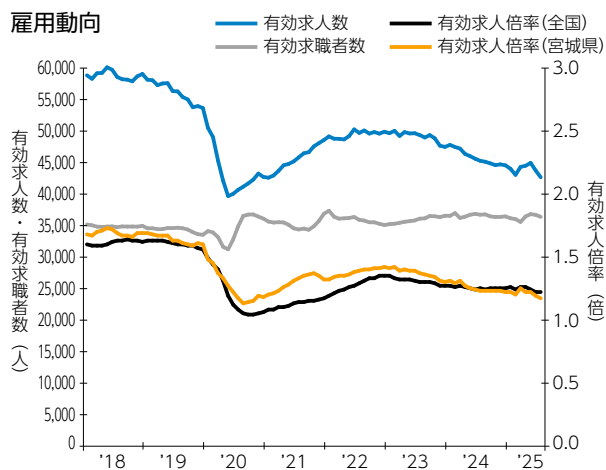
雇用情勢は弱さがうかがわれるものとなっている。

7月の有効求人倍率（季節調整値）は、前月に比べ有効求人数が減少したことなどから、前月比0.02ポイント低下の1.17倍となった。

また、新規求人数を産業別にみると、前年に比べてサービス業、卸売業・小売業などが減少した。

有効求人倍率（原数値）を職業安定所別にみると、大和（1.31倍）、仙台、築館（ともに1.25倍）などが1倍を上回っている一方、大河原（0.63倍）、塩釜（0.67倍）などは1倍を下回っている。

雇用動向



出典：宮城労働局「宮城県の一般職業紹介状況」（以下も同じ）

職業安定所別有効求人倍率

（原数値、倍）

	2025年5月	6月	7月
気仙沼	1.10	1.07	1.13
石巻	1.18	1.15	1.22
塩釜	0.66	0.65	0.67
仙台	1.22	1.20	1.25
大和	1.18	1.27	1.31
古川	0.90	0.88	0.95
築館	1.21	1.21	1.25
迫	0.71	0.71	0.76
大河原	0.69	0.73	0.63
白石	1.07	1.16	1.04

有効求人倍率等

（倍、%）

	2025年5月	6月	7月
有効求人倍率(宮城県)	1.22	1.19	1.17
(全国)	1.24	1.22	1.22
新規求人数(前年比)(宮城県)	▲ 8.7	▲ 1.4	▲ 6.0

注）有効求人倍率は季節調整値、新規求人数は原数値

倒産動向

7月の企業倒産（負債総額1千万円以上）は、件数では前年同月比28.6%減の10件、負債額では同

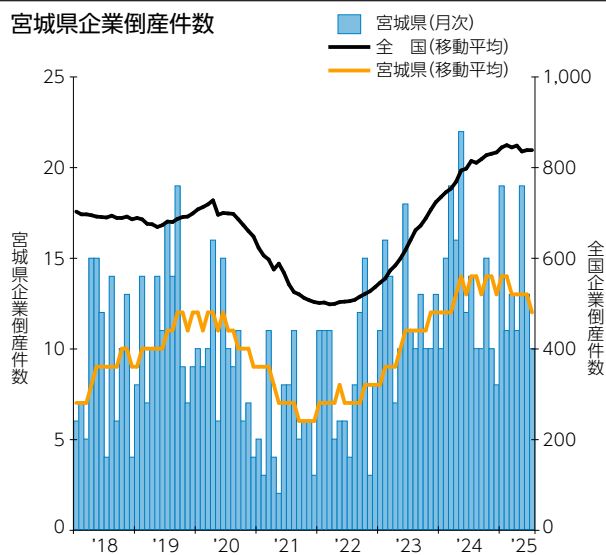
75.4%減の5億円となった。

倒産企業を業種別にみると、サービス業他が5件、製造業、卸売業が各2件などとなっている。

主因別では、販売不振が5件、過小資本が3件などとなっている。

地域別では、仙台市が5件、多賀城市が2件などとなっている。

宮城県企業倒産件数



出典：(株)東京商工リサーチ「倒産月報(宮城県企業倒産状況)」(以下も同じ)

企業倒産件数・負債額

（件、百万円）

	2025年5月	6月	7月
宮城県	件数 19	13	10
	負債額 2,282	1,120	505
全国	件数 857	848	961
	負債額 90,389	105,703	167,035

企業倒産件数・負債額

（前年比、%）

	2025年5月	6月	7月
宮城県	件数 ▲ 13.6	8.3	▲ 28.6
	負債額 ▲ 11.1	▲ 37.2	▲ 75.4
全国	件数 ▲ 15.1	3.4	0.8
	負債額 ▲ 33.9	▲ 3.8	▲ 78.6

人口動向

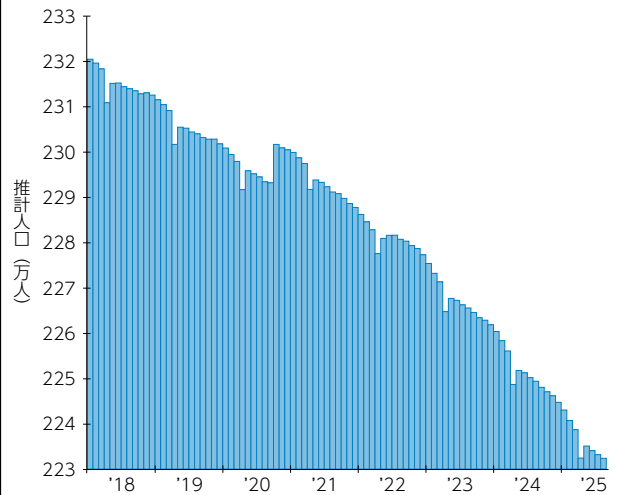
8月1日時点の宮城県の人口（推計人口）は、前年同月比17,101人減の223万2,389人となり、52カ月連続して前年を下回っている。

市町村別にみると、前年に比べて人口が増加したのは、富谷市（34人増）、利府町（31人増）などの4市町村、減少したのは石巻市（2,236人減）、大崎市（1,850人減）など31市町となっている。

人口動態別にみると、ここ1年間で自然増減は1万7,703人減、社会増減は602人増となった。

また、前月比では、自然増減は1,146人減、社会増減は340人増となり、社会増減を市町村別にみると、仙台市（592人増）、富谷市（40人増）など18市町村が増加し、多賀城市（341人減）、岩沼市（47人減）など15市町が減少した。

宮城県人口動向



出典：宮城県企画部「宮城県推計人口」（以下も同じ）

宮城県人口

(人)

	2025年6月	7月	8月
総人口	2,234,093	2,233,195	2,232,389
自然増減	▲ 1,178	▲ 1,131	▲ 1,146
社会増減	167	233	340

注）総人口は各月1日時点、自然・社会増減は前月中の増減数

宮城県内市町村の人口動向（推計人口）

(人、%)

	2025年8月	前年比		前月比			2025年8月	前年比		前月比	
		増減数	増減率	自然増減数	社会増減数			増減数	増減率	自然増減数	社会増減数
宮城県	2,232,389	▲ 17,101	▲ 0.8	▲ 1,146	340	村田町	9,735	▲ 230	▲ 2.3	▲ 10	▲ 12
仙台市	1,094,835	▲ 1,687	▲ 0.2	▲ 287	592	柴田町	36,816	▲ 266	▲ 0.7	▲ 11	18
石巻市	129,803	▲ 2,236	▲ 1.7	▲ 123	▲ 28	川崎町	7,534	▲ 190	▲ 2.5	▲ 3	10
塩釜市	49,934	▲ 554	▲ 1.1	▲ 64	25	丸森町	10,648	▲ 301	▲ 2.7	▲ 13	13
気仙沼市	54,974	▲ 1,284	▲ 2.3	▲ 56	21	亘理町	32,183	▲ 393	▲ 1.2	▲ 15	28
白石市	29,699	▲ 652	▲ 2.1	▲ 43	▲ 9	山元町	11,311	▲ 141	▲ 1.2	▲ 15	▲ 7
名取市	78,990	▲ 59	▲ 0.1	▲ 6	▲ 8	松島町	12,382	▲ 192	▲ 1.5	▲ 26	▲ 5
角田市	25,731	▲ 577	▲ 2.2	▲ 31	5	七ヶ浜町	16,996	▲ 327	▲ 1.9	▲ 24	9
多賀城市	61,845	▲ 417	▲ 0.7	▲ 20	▲ 341	利府町	35,017	31	0.1	▲ 16	30
岩沼市	42,933	▲ 469	▲ 1.1	▲ 12	▲ 47	大和町	28,396	27	0.1	▲ 7	17
登米市	69,493	▲ 1,413	▲ 2.0	▲ 58	▲ 26	大郷町	7,265	▲ 118	▲ 1.6	▲ 7	▲ 2
栗原市	58,160	▲ 1,330	▲ 2.2	▲ 79	▲ 5	大衡村	5,463	8	0.1	0	11
東松島市	37,070	▲ 476	▲ 1.3	▲ 26	0	色麻町	6,048	▲ 127	▲ 2.1	▲ 10	0
大崎市	119,630	▲ 1,850	▲ 1.5	▲ 84	11	加美町	19,941	▲ 472	▲ 2.3	▲ 17	▲ 15
富谷市	51,526	34	0.1	2	40	涌谷町	13,835	▲ 298	▲ 2.1	▲ 10	▲ 3
蔵王町	10,480	▲ 215	▲ 2.0	▲ 20	▲ 2	美里町	22,401	▲ 322	▲ 1.4	▲ 23	2
七ヶ宿町	1,123	▲ 40	▲ 3.4	▲ 3	4	女川町	5,936	▲ 86	▲ 1.4	▲ 10	1
大河原町	23,222	▲ 156	▲ 0.7	▲ 6	15	南三陸町	11,034	▲ 323	▲ 2.8	▲ 13	▲ 2

※「推計人口」とは、国勢調査人口をベースとして、住民基本台帳法に基づき届出等があった出生・死亡、転入・転出の数（日本人のほか外国人も含む）を加減して算出した人口（推計人口は各月1日時点）

自然増減数＝出生者数－死亡者数 社会増減数＝転入者数－転出者数